

令和2年度 学校経営方針

シアトル日本語補習学校

I. 教育目標

自ら学び、考え、日本文化を愛する心をもち、国際感覚を身につけた人間性豊かな児童・生徒を育成する。

II. 目指す子ども像

1. 進んで学び、希望をもって未来を展望する子
2. 自ら考え、判断し行動できる子
3. 目標に挑戦し、あきらめずに最後までやり抜く子
4. 言葉を大切にし、日本語で豊かな表現ができる子
5. 生命と人権を尊重し、礼儀正しく、思いやりのある子
6. 互いの個性や文化を尊重し、広い視野で物事を考えられる子

III. 指導の重点

1. すべての教育活動を通して、日本語への興味・関心・理解を深める。
2. 全ての教育活動を通して、日本語を話す力・書く力・読む力・聞く力の伸長と表現力の向上を図る。
3. 限られた年間指導時数の中で、最大限の教育効果を実現するために、周到な計画と準備により、充実した教育活動を展開する。
4. 新学習指導要領の実施に伴い、本校の実情や児童・生徒の実態に応じた授業改善を通して、主体的・対話的な学びを実現する。
5. 教科指導においては、基礎的・基本的な内容を定着させるため、指導方法の工夫・改善を行う。
6. ICT機器を活用して教材・教具を作成し、子どもたちにとって「わかりやすく魅力ある授業」を実践する。
7. 授業においては、規律ある学習態度を培い、児童・生徒一人一人を大切にした授業展開をこころがける。
8. 適切な学習課題を課し、児童・生徒が自主的・計画的な学習習慣を身に付けさせる。
9. 基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い・服装・態度・マナー等）を身に付けさせる。
10. 学校生活における健康・安全に関する指導を徹底し、事故防止に努める。
11. 保護者との連携を密に信頼関係を深め、理解と協力を得て教育活動を行う。
12. 子どもたちが、明るく生き生きと学校生活を送ることができるよう、児童生徒・教職員・保護者が、それぞれのかかわりの中で、温かく豊かな人間関係を築く。